

道の駅ってどんなところ？

道の駅八王子滝山



東京都唯一の道の駅

平成19年4月にオープンした東京都唯一の道の駅八王子滝山は、間もなく14年を迎えます。八王子の農家による「大規模な農産物直売所を」という声もあって設置に至りました。

約170名の農家が出荷する農産物直売所「ファーム滝山」は、新鮮な農産物を買求める市民を中心とした多くのお客様で連日賑わいをみせています。

お気に入りの農家が収穫した農産物を購入するため朝から並び、開店と同時に一目散に売り場を目指すお客様も見受けられます。

また、地元の野菜を使ったお惣菜コーナー・牧場主が搾りたての生乳を使ったジェラートコーナーも人気です。

そんな道の駅八王子滝山を支える「人」や「コーナー」を紹介していきます。

畑の人 河井 豊さん

八王子には昔ながらの畑が沢山あります。今回は、江戸時代初期から代々受け継がれている畑で働く河井豊さんをご紹介します。

現在8代目となる河井さんは、もともとは塾講師をしており、主に中学生を相手に理科と数学を教えていましたが、祖父やお父さんのように農業に携わりたという思いが強くなり、27歳の時に就農しました。

幼少の頃から祖父やお父さんのお手伝いをしたり、畑で遊んでいた河井さんですが、始めは野菜を育てる難しさに悩む日々だったそうです。

「野菜は思ったより簡単に病気になったり虫がついて弱ったりと、非常に繊細で脆いものだと改めて気付きました。だからこそ丹精込めて目をかけ手間をかけ育てないと美味しい野菜を収穫出来ません。育てているという気持ちは何よりも大切」。河井さんの野菜に対する情熱がひしひしと感ぜられます。

「消費者の皆様には、地元の野菜を手にとって味わって頂きたいですね。私が育てている農作物は種から蒔いて育てているので、将来は育苗用の施設を造り、これまで以上に皆様に新鮮採れたての健康的な野菜を提供したいと思います」これからも新鮮な野菜を道の駅を通じてお客様に提供出来るよう、農家の皆さんの思いも乗せて販売しなければと強く感じました。

河合さんが育てる旬な野菜「ブロッコリー」。そのオススメな食べ方を聞いてみました。「鮮度が良いブロッコリーは本当に甘いのでシンプルに茹でて食べて下さい」

ブロッコリーを丸かじりで野菜の甘味と鮮度を味わってみては如何でしょうか。

都内14あるJAの中から1人ずつ代表者が選ばれる「農業男子」にJA八王子代表として河井さんが選出されました。今後益々、若手農家の代表としての期待が高まります。



富男さん(左)、松子さん(中)、行弘さん(右)

お店の人 小俣松子さん お惣菜『はちまきや』

平成19年4月のオープン以来、「はちまきや」で元気に働く小俣松子さん。オープン当初の苦労などを伺うと、「お惣菜製造販売の右も左もわからず、お客様の嗜好にあったお惣菜のラインナップ、素材の味を生かした味付けやお客様へのお声掛けなど、試行錯誤の連続でした」と笑顔で語ってくれました。

現在では、お惣菜を求めて日々足をはこんで下さるお客様もたくさんで、キュートな笑顔と元気は「はちまきや」の無料サービスですと満面の笑みで話す小俣さん。

家業である酪農はご主人の富男さんと長男の行弘さんに任せているそうですが、小俣さんの案内で「小俣牧場」を訪ねてみると住宅街の中にひっそりと乳牛の姿が。その中には仔牛の姿もあり数か月すると北海道の牧場に預け、立派な乳牛に育って帰って来るとのこと。

この牧場で搾乳されたミルクは、道の駅でも販売されている東京牛乳に日々納めているそうです。

小俣さんは「はちまきや」を始めてから野菜作りにも精を出し、収穫した新鮮な野菜を道の駅に出荷し、お惣菜の食材として利用するなど毎日が大忙し。持ち前の明るさで楽しそうに働く姿はまさに道の駅の元気印。

最後に小俣さんから一言。「道の駅にお越しの際は、私が大切に育てた野菜、愛情込めて作ったお惣菜を是非一度お試しください」

道の駅仲間 「風のマルシェ御前崎」

～御前崎フルーツファームを訪ねて

静岡県の最南端に位置し、日照時間が長く温暖な御前崎市に平成26年4月にオープンした「道の駅風のマルシェ御前崎」。

山梨駅長によると、現在では、約300人の地元の農家の方々が道の駅に農産物を出荷しているそうです。敷地内には畑、温室、ビニールハウスが設けられ、その総面積は40アール(約1200坪)にもなります。山梨駅長自らが「そら豆」・「パセリ」・「ブロッコリー」・「アスパラ」等を農業や肥料の使い方、水やりの頻度など、日々勉強しながら栽培し、収穫された野菜は店頭にも並ぶとのこと。農家が収穫した農産物を販売し、駅長自らも栽培に携わる道の駅風のマルシェ御前崎はまさに農業振興拠点施設。

これからの季節は、御前崎市名産のイチゴの出荷が最盛期を迎えます。毎年、採れたてのイチゴを道の駅八王子滝山に直送する手配を山梨駅長にお願いしています。御前崎市では様々な品種が栽培されており、静岡県を代表する「紅ほっぺ」や果肉が非常に柔らかく繊細な「章姫」など10品種以上にもなるそうです。

山梨駅長が、道の駅八王子滝山にイチゴを直送している「御前崎フルーツファーム」が歩いてすぐのところにあると言うので、早速ご案内いただきました。松本さんが代表を務める御前崎フルーツファームでは72棟のハウスで7種類のイチゴを栽培し、年間の出荷量は50万パック以上にもなるそうです。

松本さんに栽培の難しさをお聞きすると、「苦労なんてないよ。イチゴ狩りに来るお客様の笑顔や美味しいという言葉でパワーを頂いているから。」と満面の笑みを返してくれました。

道の駅八王子滝山では1月から御前崎産イチゴの販売を行う予定です。今年も艶やかでみずみずしいイチゴを期待しています。

イチゴ狩りを楽しみ道の駅で休憩やお買い物をする、そんな素敵な休日を御前崎で過ごしてみたいいかがですか。



写真左:山梨駅長、右:松本代表



これから実りを迎えるイチゴ

【道の駅八王子滝山】

所在地:東京都八王子市滝山町1-592-2

連絡先:042-696-1201 <http://www.michinoeki-hachioji.net>

【道の駅風のマルシェ御前崎】

所在地:静岡県御前崎市合戸4384-1

連絡先:0537-85-1177 <http://www.omaezaki-marche.com>

【御前崎フルーツファーム】

所在地:静岡県御前崎市合戸2578-1

連絡先:050-1506-4943 <http://www.omaezaki-fruit-farm.com>